

「主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。
主は、私のいのちのとりで。だれを私はこわがろう。」
(詩篇 27:1)

ハレルヤ！ 皆さん、お元気ですか。今年のチア・コンベンションも、神様の恵み、祝福の内に終わりました。皆様のご参加、お祈りのお陰で、希望あふれる会となりました。ほぼ過去最高に近い、約1200名（大阪は384名、東京は820名）と、たくさんの皆さん、集っていただきました。いたらないところもいろいろとあったと思いますが、とても励まされ、とても感謝でした。ご参加、そして、お祈りを重ねて、お礼申し上げます。

今、チア事務局は今年29日のミニ学習会と、8月のサマーキャンプ（13-15日）への準備などにあたっています。どうぞ、続けてお祈りください。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

希望—主は、私のいのちのとりで

「希望」。「キリストに信頼する者は失望することがない」、そんな希望が胸に深く刻まれるコンベンションでした。

年は、「新型インフルエンザ」、「金融危機」という未曾有の困難の中での開催となりました。特に最初の関西地区での開催日は、ちょうど、兵庫・大阪等で、学校が全面的に休校となり、150万人あまりの子どもたちが自宅待機。テレビは連日、新型インフルの報道の一色に近い時で、コンサートや集会は次々と中止されました。アメリカでは、すでに3週間あまり、メディアに取り上げられることが無くなっていた時でしたが、この状況で、来れなくなった方々の事情も理解できます。

この影響で、参加者が大幅減少しても、仕方がない。でも、主が中止するように導いているとは思えず、出席者の数とかはものともせず、ただ主の開かれた機会と使命を全うしようと覚悟を決めて開催日を待ちました。ところが、そうした悪条件に関わらず、多くの皆さんが集まってくださり、まずはその姿だけでも、感動してしまいました。参加者の内訳をみると、関西地区は例年になく、初めての参加者が少なく、その層への影響を思いました。でも、総数では、ほぼ過去最高でした。ということは、チャーチ&ホームスクーリングの必要性を、すでに深く捕らえた方々のすそ野が広がっているという意味であり、これは、素晴らしいナーと思いました。

逆に東京会場の時は、すでに新型インフルのニュース等、激減した段階で、初めての方が40%あまりで、参加者がほぼ過去最高に近い（東京の過去最高は昨年の約1000名）ということでした。これも、将来、5年後、10年後の希望を感じさせるすごいことだと思いました。このような家族、教会が成長していったら、5年後、10年後、日本は変わるでしょう？ そう思わずに、いられないわけです。

神様の守りと皆さんの祈りの中で、育まれ、祝福された会が、今年も開催できたことは、深い恵みでした。「主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主は、私のいのちのとりで。だれを私はこわがろう。」(詩篇 27:1)」、我らにたくされた主の主権の強さ、本質を改めて思い知らされています。



「主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主は、私のいのちのとりで。だれを私はこわがろう。」(詩篇 27:1)」、我らにたくされた主の主権の強さ、本質を改めて思い知らされています。

恵みのチャーチ&ホームスクーリング

今年の講師のイスラエル・ウェインさんは、多くの方々の慰めと励ましに用いられたようです。各会場、「8講座ずつ」と若さを生かしてフル回転してくれました。イスラエルさんは、シングルマザーのお母さんの手によるホームスクーリングほか、様々な苦難も経て育ったホームスクーラー2世。現在、ミシガン州で奥さんのブルックさんと、5人の子どもたちと一緒に、ホームスクーリングをしておられます（6人目が今月、誕生予定）。3種類のマガジン

発行や講演活動等を通して、全米にメッセージを発信し続けているイスラエルさんの情報量は多く、分析は深く、とても好評でした。本当に感謝でした。

彼は話すことが大好きです。一緒にいた2週間、大体、朝7時の朝食から、連日の「長い夕食」、夜の11時ぐらいまで、一日16時間、ずっと、しゃべりっぱなしという感じです。内容的に日本の霊的ムーブメントに役立ちそうなことを次々と話してくれるので、あきないし、ずいぶん、勉強になりました。この30年あまりのアメリカのホームスクーリング・ムーブメント史の中での失敗や、良かったこととか、他山の石とできそうな情報も的確に、一生懸命、話してくれました。

関西会場の分科会で通訳をさせていただいていた途中、私自身、思わず息を飲んでしまう、それまで聞いたことのない体験談が出ました。後で確かめると、アメリカでの講演や文書では一度も公にしたことのない話で、なぜかその時、話すように、特別に導かれたんだとのことでした。

イスラエルさんのお母さんは、牧師のご主人と離婚に至り、その後、ノンクリスチャンの男性と再婚します。ここまでは聞いていましたが、その後は僕も知りませんでした。

「しかし、その義理の父は、当時12、3才だった僕を虐待し、殺そうとしました。それで義父は、5年間、刑務所に行くように求刑されます」「その時、義父が自分に言ったことばは、『出所したら、必ず、お前を見つけ出して、殺してやる』でした。自分も、そんな義父を憎み、『自分もあなたが憎い。自分もあなたを殺す』」。その時、イスラエルさんは、神様に祈ったそうです。「父の思いは、子に影響し、子はいつしか父と同じことをするようになる。自分は、この思いを、将来の自分の子どもに持たせたくない。神様、もしそうであるなら、自分を今、殺してください。そうしなくていいから。あるいは、義父への憎しみを取り除いてください」と。すると神様は、その憎しみを、取り除いてくれました。その後、義父は収監されないこととなり、そんな義父とさらに5年あまり生活することとなります。5年後、義父は家を去り、離婚。でも、お母さんは、この時期に、はっきりと、キリストへの信仰を持ったのだそうです。

お母さんは「学校制度が好きではない」という理由でホームスクーリングを始めていました。でも、信仰を持つてからは、神様を第一とする教育として、キリストの弟子を育てるために、神様が教えた方法でホームスクーリングをするという動機に変えられたそうです。シングルマザーの元で、6人の子どもたちのホームスクーリングが始まります。そんなイスラエルさん家族を、地元の新聞社が取材します。その記事は大きな反響を呼び、80年代、まだ始まったばかりの全米各地のホームスクーリング家族に口コミで拡がり、注文が殺到。お母さんは、ホームスクーリングダイジェストという隔月のマガジンを発行し、経済的にも、家族の生活を支えることが可能になっていきます。

東京コンベンション終了後、クリスチャン新聞の中田朗記者（中田記者は、ホームスクーラーでもあります）と私に、そのあたりについて話してくれました。

「その時、母は収入もないのに6人の子どもをホームスクーリングし続けるという道を選びました。母自身は高3の時に中退しました。仕事の資格も全くもっていません。政府の福祉でサポートされる道も選びませんでした。では、どうやって彼女は生きたのでしょうか？ お金もない、学



京都にて
——
イスラエルさん、日本食好きだから、
楽でした

歴も特別な技術をもっていたわけでもない、でも、聖書に立ち、ホームスクーリングを続けたいという強い願いをもっていました。このような状況で残っていたのは、まさに神の恵みだけでしょうか？ そう、母がもっていたのは、神の恵みだけだったと思います。その時に、神様は出版の仕事という道を開いてくれました。神様ご自身が母を強め、どうしたらそのような状況で、神様の家族を育て上げていくことができるかということをお教えました。自分たち家族をいやすだけにとどまらず、ほかの家族をいやし、また強めていくという道を与えてくれました。神様は夫をもたないやめめを、たくさんの家族に信仰を与えるために用いられました。聖書に書かれてあるとおりです。神が父なき者の父となり、そして夫なき妻の夫となってくれました。それと全く同じ事が、我が家に起こったのです。今、私は結婚し、来月には6番目の子どもが産まれます。母の信仰によって、多くの良きものを与えられました。神様は、過去と絶縁し、全く新しい家族としてスタートを切ることを許してくれました。私の子どもたちは今、自分たちをものすごく愛してくれる父に恵まれています。また、私の子どもたちは、夫と妻が愛し合うすばらしい両親が与えられています。これらはすべて、神様の恵みだけによるものです。これができるのは、神様だけです。」

国籍

京都の一日旅行を経て、仙台へと向かいました。日本食も喜んで食べてくれるので、接待はとても楽です。宮城明泉学園から、保護者対象に「教育セミナー」とをリクエストいただき、その要望に答えたものです。前日、丸森の皆さんのところへも案内しました。これまでの基調講演者をほとんど連れていきました。実際に見たり交わったりして、みな驚き、その交わりを楽しみ、霊的にとても励まされつつ帰国しました。イスラエルさんにとっても、その体験は人生の宝になるだろうと思って連れていきました。

最初に訪問したのは、啓明小の英語教室でした。4年前から、前チア・カリフォルニア理事のジャネットさんが先生となって指導しています。ジャネットさんとイスラエル

さんのお母さんは、1970年代後半からホームスクーリングを始めた、いわば戦友みたいな関係です。そのジャネットさんが言います。「ここ丸森の人たちのキリストへの献身は、本物なんだよ。彼らは、アメリカ国籍を捨てているのよ。キリストのために、身を捨てて宣教地に来る、その思いは私も同じだし、それで日本に来てる。でも、国籍を捨てるとなるとこれは違う。いわば、パパ、ママに本当にさようならということだから、そこは私はまだためらってしまう。」

日本から、南アジアの「その国民でなければ伝道してはいけない」という法律のある国々に召された人々は、法律に従い、日本国籍を捨てて伝道しています。それは、やはり、真剣な先達の模範を見ていたから、できたのでしょう。ジャネットさんの証言に、イスラエルさんはうなずいていました。

「私の方が、のりより、ずっと悪い人間だよ」

続いて会ったのは、ジャン・後藤さん。ハワイ生まれの日系アメリカ人（現在は日本国籍）。実はこの方が、丸森ミニストリーの代表者の重責を担ってきた一人です。長く、宮城明泉学園の理事長も務めていました。ポール・ブローマンさんやフィリップさんが表舞台に立ってきましたが、後藤さんは、陰で口数少なく、20人あまりのパイオニアたちと一緒に、ミニストリーの展開をしっかり支えてくれたわけです。

コンベンションの分科会で、チルミニののりさん（マタイ）&愛子・ブローマンさんが、今回、初登場で大人気でした。愛子さんは、当時は丸森のいたずら小僧的な存在だった、のりさんからのプロポーズを受けるかどうか、迷っていました。そのとき、何人かの先輩たちが、結婚を励ますのですが、ジャン・後藤さんもその一人でした。愛子さんがジャン・後藤さんに相談したとき、次のように励ましたそうです。「のりのことは、悪い人だと思うときもあるでしょう。でも、私はそう思わないよ。私の方が、のりよりも、ずっと悪い人間だよ。」このことばに、丸森の優等生で、女性たちの憧れの存在の一人であった愛子さんは、「そうだな。自分も、自分をもっと正しいと思う、高慢さがあったと思う」と心打たれたそうです。そして、二人は、今、神様の祝福の中に、文字通り、幸せな日々を過ごしています。物静かなジャン・後藤さんをイスラエルさんに紹介できたのも、丸森を深く知る上でとても良かったと思います。

中国語の先生&歯科医…伝道者たちの献身

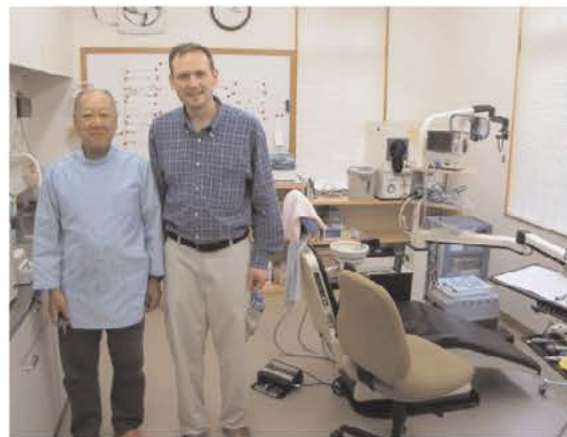
続いて、中国語クラス。40年前から、中国語伝道を期して中国語を修得させているため、丸森の子どもたちは、三カ国語をそれぞれ母国語レベルで用います。その背後には、台湾から来たデボラ先生の40年の献身がありました。明泉ソウル分校から帰ってきたばかりのデボラ先生ですが、相変わらず、エネルギー満ちでした。

啓明小の古い校舎の片隅には、歯医者さんの診察室もあります。そこをイスラエルさんと訪れました。歯科医、笹川修先生は、医師歴49年のベテランで、新潟や東京で人気の歯科医院を経営していました。伝道に召され、丸森の人々と共にほぼ30年、行動を共にしています。今回のコン

ベンションのチルミニでも、お嬢さん2人が手伝ってくれました。カンボジアや東南アジアの国々で診療奉仕を行い続け、政府等との関係を築き、地元の伝道者たちの後方支援にも用いられています。「これ、アメリカ政府から特許もらったんですよ」と、独自に開発した治療システムを見せ、もてなしてくれました。74才、東アジアの伝道旅行から帰ったばかりの歯科医&伝道者、笑顔の歓迎でした。

最後に伺ったのは、ポール&せつ子・ブローマンさん宅。ポールさんは、脳梗塞からのリハビリ中で、コンベンションは奥さんのせつ子さんのみの参加でした。ポールさんはとても残念がっていました。体調も心配し、5分程度のつもりで訪問しました。でもポールさんは絶好調で、結果的には45分あまり、とても楽しく、会話がはずみました。ポールさんは、来日当初、山の手線で福音を伝える思いが募り、長い時間、各車両まわって伝道した話しを一生懸命、イスラエルさんに伝えました。「伝道」がポールさんの人生の最大の目的だったし、その思いをイスラエルさんに伝えたかったのだと思います。

数日前、イスラエルさんから、メールをもらいました。イスラエルさんのコメント「日本への旅は、永遠に忘れられないと思う。ものすごく、素晴らしかった。どの瞬間にも、心打たれた。(I will remember my trip to Japan forever. It was absolutely wonderful. I loved every aspect of it.)」



啓明小の古い校舎の一角にある診察室にて
笹川修先生と共に

友達・集団への依存

東京コンベンションを前に、思索していることがありました。イスラエルさんの分科会「社会性とは」を、予定変更して基調講演にするかどうかについてです。関西地区の「社会性とは」は、通訳しながらも、体中がしびれてくるほど、強いインパクトを感じるメッセージだったからです。

「社会性」については、これまでも良きメッセージが語られてきていたので、スタッフ内で項目を選ぶ段階では、分科会候補から、はずれそうになるテーマでもありました。でも実際は、15年あまり研究してきたテーマということもあり、これまでに無い切り口でした。また、ホームスクーリング、チャーチスクール、週2時間からのチャーチ&ホームスクーリングとの形態に関わらず、一人でも多くの人々に聞いてもらいたい内容でした。

学校という集団生活がもたらす「友達依存」「親子関係の分断」という効果。そのことを意識的にねらってきたルソ

一、マルクス、ヒトラー、そして教育学の父と言われるデュイ。集団の中にいて受け入れられていることを実感することが、人間の本能として求められていることで、何が善で悪かよりも、集団が喜ぶかどうかが行動規範となってくる。ナチスドイツ、戦前の日本、そして、友達依存の中のティーンエージャーたち。

子どもたちに影響を与えるのは、最も一緒に時間を過ごした人。教師であれ、親であれ、同世代の子どもたちであれ。そして、その交わりに「楽しさ」を与え続けられ続けるほど、その依存は深まる。70-80%の子どもたちは、1年もすれば、親よりも友達の評価が大事になり、教師は自由にコントロールできるようになる。「親に任せているため、子どもたちは悪くなるので、できるだけ、教師、学校、政府が子どもたちを育てるべき」といった性善説、反聖書的な人間観と反聖書的な教育目的の設定に基づいた教育システムをアメリカで構築。上記、ルソー、マルクス、ヒトラー、デュイは皆、聖書、キリストを抹消する理念で、教育哲学を形成した。その「できるだけ、学校・政府が子どもたちを管理し、親から離す時間を増やし、教育していかなければならない」という考え方が、多くの教育者、教育行政の理念と継承されてきている。イスラエルさん自身、1年間のクリスチャンスクール体験で、まったく友達依存になり、それまでの親への密接なきずなが切れ、反抗的になっていった。そんなイスラエルさんに対してお母さんが立ち上がり、3ヶ月間、一切の友人関係を絶たせて、親子で生活を共にする断固とした姿勢をとっていった、という骨子。

「友達依存」、「集団依存」や「恐れ」という慣習が強いといわれる日本社会。インターネット等も含め「キリスト、聖書を恐れるところ」を破壊していく風潮が強くなっていく今、日本人への緊急のニーズの核心をつく、大切なメッセージではないかと思いました。それで急遽、このセッションを基調講演に差し替えました。幸い、東京でのアンケートでも、反響が圧倒的に大きく、基調講演にシフトしてよかったなと思いました。関西での「社会性とは」の講演も良かったので、できれば、皆さんにCD、DVDなどで東京、関西の両方を聞いてもらいたいなと思っています。イスラエルさんの特徴は、同じテーマでも若干、内容やトーンが変わるところがあります。どのセッションも基本的にいいですが、関西地区の「13の理由」、「地の塩、世の光」、「結婚への備え」、ぜひ、聞いてもらいたいなと思い、推薦します（音質が東京ほどは良くないとのことですが）。

一人でも、二人でも

今回、例年以上に、基調講演者のイスラエルさんの分科会への参加の集中が見られました。その結果、例年はいっぱいになる分科会でも、参加者が少ない部屋も続出しました。それで東京では、8年前に話した、「数によらず。チアは、一人でも二人でも」という、私自身、感動した体験と、チアの基本姿勢を皆さんに伝えました。

今から8年前ぐらいのことだったと思います。ボブ・ジョーンズ大学で開催されたチャーチスクールセミナーに参加しました。10ぐらいの分科会に別れる時間がありました。私は翌年のチアの講師候補になるだろうと思った基調講演



者、ジャコートさんの分科会に出ました。

他の分科会の中で、ホームスクーリングについてのセッションが一つだけありました。こっちも出たかったので、最後の10分だけ、その部屋に向かいました。その部屋には、出席者はただ一人でした。でも、講師は、喜んで一生懸命話していました。僕の途中参加も、飛び上がるほど喜んでくれました。ただ一人の出席者も、とても感謝して聞いていました。僕は、その姿勢にとっても感動しました。

その話を当時の仙台コンベンションでしました。東京や大阪のように出席者は少なく、分科会講師を励ますためでした。その話をした直後、僕の部屋には、二人の方が来ました。教室の窓からその様子を見たポールさんは、「お、Hiroの部屋には、二人しかいない」と笑ってました。一緒にいた太田先生が、「かわいそうだから、私も参加します(笑)」と言って、三人になりました。いつもは多いのに、まさか、自分のセッションがそうなるとは…と苦笑いしつつも、聖霊にゆだねて、喜んで始めました。その時参加された方は、セッションの後半で、涙ぼろぼろになりました。僕も話しながら涙が出てきそうになりました。もう一人の方とは4、5年経ってから再会し、「その後、ホームスクーリング始めました。あの時の分科会が大きかった」と話してくれました。

「一人でも、二人でも」という、この思いは、今もチアの思いであり、私自身の思いです。ちなみに、イスラエルさんに話したところ、似たような体験をされたそうです。10年ほど前、1200人の部屋に7人ぐらいしかいない時もあったそうです。セッションが始まる10分前に行くと会場は超満杯で立ち見が出ていて、「わーすごい。がんばろぞ」とイスラエルさんは思ったそうです。でも実は、これはその前のセッションが時間オーバーで続いていたもので、終わるやいなや、どっと会場を出始め、別のセッションに行き、出て行く人の流れがすごくて、イスラエルさんはしばらく中に入れなかったそうです。残った人が7人。広い会場なので「皆さん、前に来てください」と言っても誰も動かなかったそうです。それでさらにショックを受け、自分が何を話しているか、わからない位、落ち込んで、暗いセッションになったそうです。その時は、本や雑誌もほとんど売れず、講師料や宿泊代等も出ない大会だったので大赤字になり、惨憺たる思いで帰ったそうです。それから7年後、

州レベルのホームスクーリングコンベンションの基調講演者に招かれた時のことです。分科会の部屋に入ると、最前列に座った女性が顔を見て驚き、すぐ部屋を出て、もう一人の女性を連れてきました。彼女は「あなたは私たちのこと覚えてないでしょうけれど、」と話してきました。「覚えてますよ。あのほとんど誰もいない分科会で、一番前に座っておられた方々ですよ」「そうです。あれから、私たちはホームスクーリングを始めました。あのセッションが、私たち家族の人生を大きく変えたのです」

イスラエルさんは私に言いました。「神様の計画を知るまで、7年間必要だった。だから、目に見える人数や現象ではないということ、深く教えられたんだ。」この「一人でも、二人でも」ということを改めて心に刻む、コンベンションでもありました。

弱さこそ、力

東京コンベンションが終わって、上述のクリスチャン新聞、中田記者とのインタビューの続きです。

(中田記者) 日本にも、かつてのイスラエルさんのように、困難な状況の家族がいると思いますが、励ましの言葉をお願いしたいのですが？

——神様は弱者を用います。神様は完全な者とか、ものすごいお金持ちとか、才能に満ちあふれた人を用いるかもしれないけれども、多くの場合は本当に欠けたる者、困難に直面している人々、弱い立場にある人々を、神様は大きく、強く、用いられます。もし、自分には多くの才能が与えられていない、と感じている人がいるならば、神様はまさにそのような人々を多く用いられます。恵みというものは、神様に私たちが何を与えられるか、ということではなくて、神様が私たちに何を与えてくださるかでしょう？それが恵み・憐れみの本質ですよ。

神の恵み、憐れみを受ける秘訣というのは、謙遜になることです。神様は高慢、高ぶり、プライドをもった人々に対してではなく、謙遜な人にその力を現されます。私たちが必要、自分の至らなさを認め、告白したときに、神様はその時に与えることを始められます。

(中田記者) 今回、関西と関東でコンベンションを行いました。その印象についてお聞きたい。

——率直に言って、とても驚きました。関西も東京も。現代社会において、最も大切なことが、このチア・コンベンションを通して起こされているのではないかと感じました。子どもたち、家族、教会の回復というのは、神様が心から願っていることです。父の心を子に向け、子の心を父に向け、これは神様が終わりの時代に起こることとして計画を立てたことです。これは、国のリバイバルの最初に起こることです。

チア・コンベンションはとてもプロフェッショナルに計画され、準備されていることに衝撃を受けました。アメリカの8千人、1万人規模のコンベンションのレベルで、あるいはそれ以上に準備され、進行がなされていることに驚いたのです。この10年間、アメリカからチアに招かれているスピーカーたちは、アメリカで、最も用いられているスピーカーたちです。なぜ、このように毎年送られてきたのかも、不思議です。このことにも驚きました。それもまた、

神の恵みではないかと思います。まさに、日本で起こっているチャーチ・ホームスクーリング・ムーブメントの上に神の御手があり神のご計画と恵みが注がれていることを実感しました。

陽川スタッフのお母さん、天国へ

関西コンベンションの6日前、ガンを患って闘病中だった陽川夏枝・芳枝スタッフのお母さん菊子さん(85才)が逝去されました。昨夏には、「あと2ヶ月」と診断されましたが、姉妹たちの懸命な介護のお陰で、何度も持ち直しました。幸い、この半年で、イエスさまへの信仰を明確に持たれ、最後の会話は、共にした「主の祈り」。そして、チアへの感謝だったそうです。両姉妹の心の癒しと励ましのために、お祈りください。

逆境の時に

コンベンションの後、スタッフと一緒に、チアの書籍の倉庫の整理や、いくつかのミーティングをしてから、ロサンゼルスに帰りました。聖書大作映画「Kingdom Come」はまだ足踏み状態ですが、神様は、今も少しずつのサポートも与えてくださり、サバイブさせてくれています。

NHK時代の尊敬するBデスクは、逆境の過ごし方を教えてくれました。Bデスクが慕っていた上司は、NHK内の派閥抗争に敗れ、Bデスクはいわゆる窓際族的な、陽の当たらない番組ディレクターにまわされました。その番組制作班は、退職待ちの人ばかりで、時間だけがたくさんあるグループでした。敏腕ディレクターとして脚光をあびたポジションからは考えられない左遷、絶望とも思える部署でした。その時、Bデスクは仕事を早めに済ませ、図書館にこもって、岩波選書とか新潮100選とかを読破して、将来に備えました。1年、2年と時が経ち、チャンスがめぐってきました。その時には、どの分野にも、ある程度の基礎知識や問題意識をもって見つめられる、以前よりも、数段、成長したディレクターとして、飛躍が待っていたそうです。ドストエフスキーが投獄された時、聖書を必死に読んで過ごし、後に文豪として成長する基礎が作られていたことにも通じます。あるいは、旧約聖書で、ヨセフが投獄されている間に、神様との関係を強めていったこととも通じることかなとも思いました。

私も、今、足踏み状態の時に、あきらめることなく、さらにドアをノックし続け、備えていきたいなと思いました。今回のロサンゼルスでも、映画関連の思いがけないミーティングが与えられ、新しい希望も与えられつつあります。どのような計画、タイミングを主がお持ちか、わかりませんが、主の御心になるよう、それまで十分、研鑽し、良き働きのために備えておくことができるよう、続けてお祈りください。

コミュニケーション ギャップ

最後に私ごとですが、我が家のジョセフも9ヶ月になり、ハイハイのスピードや行動半径が拡がり、驚きました。

帰国した午後、和紀子が真祈史やエミリを迎えるため、

ジョセフを任せられました。僕はジョセフと遊びながらも、夜行便と時差の疲れの中で、眠ってしまいました。和紀子が戻ったときには、ジョセフの姿は見え、和紀子は焦って探したそうです。ジョセフは、はいはいして、別の部屋に行き、そこで、ぐったりしていたそうです。和紀子いわく「ひろちゃんへの信用はなくなった」とのことです。そのようにして、親が目を離れたすきに何かを飲み込んだり、20—30センチの段差でも、落ちて頭を打ったりして、当時、医師として救急病棟にいた和紀子の目の前で、何人も赤ちゃんが連れてこられ、亡くなっていったとのこと。神様に守られたナーと思いました。

ジョセフとは楽しくやっています。前々号で、出張から帰った時に、人見知りされたことを書きました。今は、ジョセフは僕を見ると、遊んでもらう期待いっぱい目を見開かせ、僕が仕事に行こうとする姿を見ると、泣きます。家にいる時は、日に3、4回、散歩に連れていきます。

真祈史（17）やエミリ（12）が赤ちゃんの時は、自分では良き父親と思ってましたが、今思うと、子育てへの意識も低く、和紀子に任せっきりに近かったと反省しています。今は、チャで学んだ10年の成果もあり、出張から帰ったときは、結構、手伝っているかなーと思いました。

でも、今日エミリから「全然、足りない。ダディは、ただ散歩に連れていくだけ。散歩から帰ってくると、はいて、真祈史に渡して、あとは仕事を始める」と言われました。真祈史も「その通り！」とのこと。「感謝され、尊敬されている」かと思ったら、「不満」という感じでした。「そうかー」なかなか、自分の思うことと、家族が感じていることにはギャップがあるものだと思います。ジョセフという神様の恵みを与えられ、喜びが与えられると共に、新たに考えさせられ、課題を示されることも多いです。

我が家は、真祈史8才、エミリ3才の時にチャーチ&ホームスクーリングスタートなので、0—3才という部分は未体験ゾーンです。そこを体験学習させられているのかなとも思いました。一度、社会人になってから、学生に戻った感じで、これも、貴重な勉強。感謝と信仰と祈りをもって歩もうと思いました。和紀子に「誕生日のプレゼントに何がほしい？」と聞くと、「自由時間」とのこと。赤ちゃんを育てるということは、特にお母さんは、睡眠不足になり、根気と体力が求められるようです。とりえず、和紀子の気分転換や他の仕事をする時間のためにと、ジョセフをできるだけ連れ出したり、食後の食器洗いなどは、僕がやろうと思い、気付いたときはやり始めました。このあたり、まだまだ未熟で、修行中の身なので、私自身の成長のためにもお祈りください。

恵みのチャーチ&ホームスクーリング

コンベンションで皆さんと時を過ごしながらか、「希望」が満ちあふれるなーと思いました。何も、全部が全部、うまくいって見えるからではありません。たとえばですが、今年、ミニ学会会ではアクシデントが続出でした。練習を積んだ「ジャグラー」のひもが本番直前に切れたり、準備していたパソコンの音声が出なかったり、パッチワークしながら見せる紙芝居のセットに大幅な時間がかかったり。それらは、年々、演出のレベルが高くなっていく中で、発生したことでもあります。でも、四苦八苦する出演者



ジョセフ9カ月 — つかまり立ちから、飛躍の季節

の姿を見ながら、「ミスがあったが、その姿に学び、完全じゃなくていいんだと励まされた」というコメントがありました。様々な試練やミス、困難があり、完全じゃないけれど、希望がある。その希望とは何か。それは、わがやぐら、イエス・キリストの恵み。そして、この素晴らしいイエス・キリストを伝えていこうという私たちの使命は、恵みゆえに達成されるということ、そしてその信仰であると思いました。

「主はわが巖、わがとりで、わが救い主、身を避けるわが岩、わが神。わが盾、わが救いの角、わがやぐら。」（詩篇18：2）

悪しき力に、目をくらませられ、攻撃の中で、それは昔のこととか、誰か特定の人だけなんだと思いこんでしまわずに。この世にまどわされず、目に見える現状を恐れずに。「主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主は、私のいのちのとりで。だれを私はこわがろう。」（同27：1）主によって打ち勝ち、悔い改め、そして、謙遜に、主の恵みを信じていくことを示されます。

「しかし、この私は、あなたの力を歌います。まことに、朝明けには、あなたの恵みを喜び歌います。それは、私の苦しみの日、あなたは私のとりで、また、私の逃げ場であられたからです。」（同59：16）

「私の力、あなたに、私はほめ歌を歌います。神は私のとりで、私の恵みの神であられます。」（同59：17）

「しかし主は、わがとりでとなり、わが神は、わが避け所の岩となられました。」（同94：22）

聖書に記された恵みの神の力、不動の岩である主の力が我らに、惜しむことなく、注がれていることを、文字通り、信じて歩みたいと思っています。

コンベンションも終わり、今は29日の関東地区ミニ学会、そして8月のサマーキャンプ（13—15日）への準備を始めています。ご参加、そして神様の祝福をぜひ、お祈りください。みなさんへのますますの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

チア・サマーキャンプ in 仙台明泉学園

8月13日(木) - 15日(土) (昨年参加270名)

グッドニュース!!

**前日(8月12日)、ふとんと宿泊スペース、
無料提供します!**

今年度、スケジュールがお盆休みと重なっているため、交通渋滞が予想されます。それで、早めに出発され、前日12日に到着された方々には、ふとんを無料で提供させていただくことにしました。また、明泉学園の皆様のご厚意も得て、宿泊用スペース(男女別のすてきな教室、幼児はOK)の提供等も、ご協力いただくことになりました(食事等は13日午後のキャンプスタートまでは、各自でお願いするスタイルです)。

翌13日昼までは、キャンプスタート前ということで、スタッフチームは、準備等、進めています。その間、各ご家族、各グループの皆さんで自由に過ごしていただく時間になります。例年、大阪チャーターバスチームは、夜行バスでこれ、当日到着です。今回と同様の自由時間をお昼寝されたり、子どもたちの皆さんと屋外の遊技施設で遊ばれたり、結構、エンジョイされて、時間を過ごしておられます。

もし、ご希望の皆様、その可能性がある皆様には、事前にチア事務局にご連絡いただく方法を取らせていただこうと思っています。詳細は、事務局にお問い合わせください。キャンプ参加申し込みくださった方には、こちらから、宿泊申込書等、送らせていただきます。

交通は渋滞で、例年より大変かもしれません。でも、旅の途中の交わりも楽しいものです。ぜひ、お出かけください!! 祝福された旅となることを心より祈っています。

チア・にっぽん事務局



★早期申込特典!★

7月17日までにお申し込み

み&入金済みの大人の方全員に、チア図書券1,000円分をプレゼント!

ぜひお早めにお申し込み下さい。

ウォーターファイト!

洗面器やバケツなど、各自持ってきてOKです。

サマーキャンプ New DVD ホームページにアップ!!

サマーキャンプ08をドキュメントタッチで紹介。キャンプの紹介はもちろんですが、チャーチ&ホームスクーリングの広がり的一面を、ビジュアルに体感できます。ぜひ下記にアクセスしてみてください。昨年のキャンプ&LITビデオらもチェック可能です。

↓
www.cheajapan.com

右のシーン(→)、2つのカメラでバッチリ撮影成功! 絶対、見てね!



キャンプ 大阪・東京－会場間 チャーターバス運行！

今年3年めとなる好評の大阪発・東京発・LIT専用の3路線、特別チャーターバスが運行されます。定員は各26名程度（先着順）です。配車の関係等で、1号車限定の可能性もありますので、お早めにお申し込みください。ご希望の方は、チャヘファックスください（FAX 03-6862-8648）。

スクールバスですので、利用席は小さめです。リクライニング等ないので、そのあたり、ご了承ください。でもこの2年、大阪便、東京便とも、ご利用の皆さんには「実費コストで安い、乗り換えなく便利、交わりができて有意義」等、好評でした。それで今年度も、明泉学園の皆さんのご協力を得て、運行します。今年は、交通渋滞が予想されるため、東京便も夜行バスの予定です。

東京からは、夜行の格安バスも出ています（次ページ参照）。チアのチャーターバスよりは、値段は高いですが、リクライニング等でできて楽です。新幹線もあります。一番早く、確実と思われます。それらもどうぞ、ご検討くださり、早めに申し込まれることをお勧めいたします。

☆関西・関東・東海地区 LITチャーターバス (往復 3000円)

<行き>

8月11日（月）夜6時 出発
梅田駅 団体バス乗り場

同日 夜9時半頃
愛知県豊川市の伝道中継センター着。仮眠後、
午前3時頃に出発。

8月11日（火）午前7時50分集合、8時出発
JR渋谷駅 ハチ公前

同日 午後1時
宮城県丸森町の啓明宮城小に到着。

<帰り>

8月15日（土）午後4時出発

同日 夜9時半頃 渋谷のハチ公前着

8月16日 午前1時半頃 愛知県豊川市に到着、仮眠

同日 午前5時頃 出発

同日 午前8時頃 梅田駅 団体バス乗り場

☆関西・関東地区 特別チャーターバス (大阪－仙台 往復7000円、東京－仙台 往復5000円 ※小学生以下は各1000円引き) ※実費（高速・ガソリン代ほか）

関西地区<行き>

●出発 8月12日（水）夜7時
梅田駅 団体バス乗り場

●到着 8月13日（木）朝8時頃（到着後仮眠）

<帰り>

●出発 8月15日（土）午後1時30分頃

●到着 8月16日（日）朝7時30分頃
梅田駅 団体バス乗り場

関東地区<行き>

●出発 8月12日（水）夜8時（予定）
JR東京駅 八重洲口前

●到着 13日（木）午前2時（予定）

<帰り>

●出発 8月15日（土）午後1時半頃

●到着 同日 夜9時頃 東京駅 八重洲口前

往復チャーターバス 申込書

FAX⇒03-6862-8648

申込日（ 月 日）

ご希望のバスを○で囲んでください。

LITバス

関西バス

関東バス

お名前（ ）年齢（ ）

お名前（ ）年齢（ ）

お名前（ ）年齢（ ）

お名前（ ）年齢（ ）

お名前（ ）年齢（ ）

お名前（ ）年齢（ ）

ご住所（ ）

携帯番号（ ）

交通費 大人（ ）人

小学生以下（ ）人 合計（ ）円

お支払い方法

☐郵便振替

☐銀行振込

☆ 東京ー仙台 格安高速バス・電車アクセス情報 ☆

(※お申し込みは直接各センターへお願いいたします。
混雑が予想されますので、お申し込みはお早めに)

◎東京から格安高速バスの場合

◆お申し込み先：オリオンツアー（株） TEL 0570-00-2020 www.orion-tourbus.jp

☆行き 8月12日 新宿駅発（22:30）→ 東京駅発（22:45）→ 13日 泉中央駅着（5:30頃）（一人片道4500円）

☆帰り 8月15日 仙台駅発（16:00）→ 同日 新宿駅着（21:45）（一人片道約4000円）

◆お申し込み先：（株）ロータリーエアーサービス TEL 0120-831-283 www.hope-tour.co.jp

☆行き 8月12日 東京駅発（23:10）→ 新宿駅発（23:50）→ 13日 仙台駅着（5:10）

☆帰り 8月15日 仙台駅発（16:00）→ 同日 新宿駅着（21:20頃）（一人片道4500円。※6枚つづりの回数券なら、1枚あたり3000円）

◎東京から新幹線の場合

（「はやて」は1時間に1、2本、その他もいろいろとありますので、ぜひチェックしてください）

☆行き 7月30日 東京駅発 はやて9号（8:56）→ 仙台駅着（10:37）

☆帰り 8月2日 仙台駅発 はやて18号（15:26）→ 東京駅着（17:08）（一人片道10590円、往復21180円）

◎飛行機の場合

☆仙台空港まで飛行機をご利用の方は、空港から会場まで送迎があります。ご希望の方は、お名前、ご連絡先（携帯番号等）、到着時間、人数を、必ず8月9日までにチア・にっぽん事務局へお知らせ下さい（FAX 03-6862-8648、Eメール：office@cheajapan.com）。諸事情により、到着から会場へ出発するまでの間に、多少のお時間があるかもしれませんが、ご了承ください。

大好評のL I T（リーダーズ・イン・トレーニング）ボランティア募集！（定員24名）

全国からのキャンパー（参加者）、チャーチ&ホームスクーラーを助けられる！ キリストの弟子訓練コースを体験できる！ 志しある仲間たち、キャンプスタッフたちとのきずなができる！（キャンプ参加申込者で、原則13～18歳が対象）前々日（8月11日）の午後1時に宮城県丸森町の啓明小に集合し、Welcomeランチでスタート！ 前日準備からキャンプ中の作業を行います。8月11日～12日の追加2泊&食費は無料です。

関西・関東からのL I T参加者にはチャーターバスを運行します（詳細は8ページ）。それ以外の参加者の皆さんは、丸森駅（阿武隈急行）まで出迎えがあります。事前に事務局にお知らせください。

◎仙台駅から丸森駅までの行き方

仙台駅11:36発（JR東北本線）⇒槻木駅（つきのき） 12:20発（阿武隈急行）⇒ 丸森駅12:45着（890円）

チア・ホームページに新設！

「我が家の子ども写真ギャラリー」

全国のチャーチ&ホームスクーラーの皆さんのネットワーク&とりなしの祈りの広場として、「我が家の子ども写真ギャラリー」をチア・ホームページに設けることになりました。チャーチ&ホームスクーリングを考えている皆さんへの励ましのため、また、祖父母の皆さんに子どもたちの成長を見てもらって安心してもらおう、などという他目的広場の意味もあります。

応募はどなたでも自由。チア・にっぽん事務局まで、Eメール、または郵送で、ベストショットをどしどしお送りください！（チアの繁忙期には、写真アップまでに1、2週間の時間を要する場合がありますが、ご容赦ください）。

宛先は、下記まで。

Eメール：office@cheajapan.com

郵送：〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷8-7-13-207

チア・にっぽん 関東ミニ学習会トライアル 第6回開催のお知らせ！

月1回程度の学びや、体育、交わりの機会が持てたらとの声に応じて始まったミニ学習会トライアル。第5回も大好評でした。6月には第6回を開催します！ ふるってご参加ください！！ 当日、今回の夏の大幅ディスカウント教材（14～15ページ）の一部、お持ちします。お楽しみに。

日時：6月29日（月） **開場：**午前10：00 **スタート：**午前10：30 **終了予定時刻：**午後3：00

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木） センター棟309号室 集合

スケジュール：

《午前》：ペン絵の講習会。特別講師に、数々のコンクールに出品、過去受賞した作品は50を超えるという新庄すが江さん（「スリーエフ・アート」主宰）をお招きし、1本のペンから繰り広げられるアートを体験します。モチーフは花。初心者でも、下書き一切なしで上手に描けると好評です。最後に必ず御言葉を書き入れ、額に入れて完成。祖父母や友人への、伝道用プレゼントとして用いることができます！ 「文字だけなら重く受け取られがちでも、そこに絵を添えるだけで素敵なプレゼントに変身。額に入れることで飾ってもらうこともできます。人生の喜びを1つ増やすと思って、ぜひ参加してください！ 損はさせません！」と新庄さん。この機会をぜひお見逃しなく！



《午後》：体育（バレー、バスケット、野球（Tボール）ほか。親御さんも一緒にどうぞ！）

「年齢別・運動神経を発達させるための運動プログラムミニセミナー Part6（約20分）」。特別講師は、藤井一朗さん（九重部屋公認トレーナー、米国公認スポーツトレーナー）。6回目の今回は、誰にでもできる、さらに新しい実践例を紹介予定です。

その他の講師：稲葉寛夫（参加できる可能性、約70%です。映画の状況によっては、来日は順延の可能性あり）

参加対象：どなたでも大歓迎です。積極的にご参加ください。ベビーシッター等ありませんが、赤ちゃん一緒にOKです。

教室は広い部屋を予約してあるので、みんなで一緒に入れます。気分転換にどうぞ！

持ち物：0・25ミリの超極細ペン（色は黒）1本。百円均一などで売っている、縁がホワイトの額1個（サイズはハガキが入る大きさ）。花のパンフレット写真（贈答用として、郵便局やコンビニなどに置いてあるフラワーアレンジメント等のパンフレット、カタログ類）、（修正ペン1本。体育館シューズ、運動できる服装。

参加費：大人（中学生以上） 700円 + 590円（食費実費）

小学生以下 500円 + 540円（4歳以上は食費実費）

※郵便振替、あるいは銀行振込にてお支払いください。

■郵便振替 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局

■銀行振込 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店（普）1746716 ホームスクーリング・ビジョン（株）

6月29日（月）第6回関東合同学習会
参加申込書 ⇒ FAX 03-6862-8648

ふりがな	(携帯)		
代表者ご氏名	お電話		
(〒)			
ご住所			
参加費	大人（中学生以上）	1290円 × () 人	
	子ども（4歳以上）	1040円 × () 人	
	子ども（3歳以下）	500円 × () 人	合計 () 円
参加者ご氏名 & 性別 & 年令			
ふりがな			
	男・女	歳	
	男・女	歳	
	男・女	歳	
ふりがな			
	男・女	歳	
	男・女	歳	
	男・女	歳	

チア・コンベンション2009 アンケート パート1

《関西》

・今から8～9年前、チアにつぼんのごく初期の働きの頃に、軽井沢までセミナーに出掛け励ましを受けた。教会内でも認知されていないビジョンであり、身近に分ち合える友人もいなかったのが、今、関西のそれも生駒聖書学院でコンベンションが持たれ、同じ思いを持つ人たちを身近に見るようになったのが、本当に嬉しいことでした。信仰も浅く拙い者に明かして下さった神の見方とさとしを振り返ってみるにつけ、神のあわれみといつくしみを思います。(良かった講演) イスラエルさんの基調講演(教育の目的、さかのぼって生きる目的)。稲葉師のオススメDVDアナウンス、パパは「味方をえた!!」と喜び、映画慎重派の私に対して、スパイダーマンも「誰でもヒーローになれるんだヨ」って言えば見せてもらえたのか…と(笑)。(奈良 榮義嗣・敬子)

(チアからPS) 悪いメディアは、もちろん「見せない」のが一番。慎重派大賛成。吟味する、メッセージを見抜く力を養うということですね。ちなみに、「スパイダーマン3」では、ヒーローも苦悩し、十字架の前でひざまずき、悔い改めてから立ち上がるというシーンも盛り込まれていますね。

・初めて参加しましたが、参加して本当によかったと思っています。日頃仕事で子どもと接する時間がほとんどなく、諦めていましたが、大切なことに気付かされました。

(良かった講演) 今キリスト信者は何をすべきか(フィリップ・ブローマンさん)、社会性とは何か(イスラエルさん)。(兵庫 福井有朋・真紀子)

・関西地区でのインフルエンザのニュースを聞いていたので、正直かなりドキドキしましたが、神様が中心におられ、神様に喜んで従いたい、仕えたいと思っている人達と過ごすことができた2日間は大きな励ましとなりました。本当に参加できて良かったです。イスラエルさんの講演は、どれも分かりやすく、ズバリと的をつくようなメッセージで良い勉強になりました。初登場?のマタイさんの分科会もとても良かったです。愛子さんと子どもたち全員での分科会は家族の雰囲気の手にとるように伝わってきました。(三重 中島啓子)

・だんだん肩の力を抜いて楽しめるようになってきました。分科会での交わりの時がすばらしかったです。(大阪 田中照美)

・久しぶりに参加しました。本当に励まされ、大切なポイントにいくつも立ち返ることができました。全て良かったです。イスラエルさんの子供時代の辛かった体験をお聞きして、だからこそ今確信を持って生き、語られていることがよく伝わりました。素晴らしいコンベンション、チルミ二、ありがとうございました!! (兵庫 大竹文)

・来る度に学びがたくさんあり、祝福され励まされます。何時も自分たちを犠牲にしてチアのためにserveしていただ



いてThank you very much. (奈良 マグナー美佳子)

・尊い御業をありがとうございます。今年も充実した内容のメッセージをありがとうございます。

(良かった講演) 青木さんの基調講演、イスラエルさんの「社会性とは?」盲点でした。宇佐神さんの「環境問題」、陽川さんの分科会、祈りの答えがありました。忍耐が養われ、継続していこうと思います。(匿名)

・初めて参加しました。素晴らしい大会でした。私はまだ信仰を持ったばかりです。事情により離れて暮らす子どもたちに何とか是非、神様の福音を伝えたいとわくわくしてきました。「教育とは模範である」この言葉を胸に宝物としてとどめます。

イスラエルさんの話は、どの話も素晴らしく感銘を受けました。特に「聖書的世界観を持つ」ことが教会においてだけでなく、生活の全てにおいて大切であることを学びました。(奈良 矢崎伸治)

・イスラエル・ウェインさんの話が良かったです。大久保みどり先生、いいメッセージでした。(匿名)

・とても良かったです。心の回復ですね!

(良かった講演) マグナー美佳子さん「生き×2、のび×2、わく×2」、基調講演1「選択肢」、木谷先生「子どもに真の尊厳を教える」。バタバタと上がったたり下がったりの心を回復しました!

(奈良 岡本義子)

・大変良かったです。(大阪 金明珠)

・初めて参加しました。たくさんのこと教えられました。世界観(青木さん)、Q&A(稲葉さん)、子どもの結婚の備え(イスラエルさん)に出ました。全て良かったです。(大阪 錠いづみ)

・素晴らしかったです。主に愛されていること、主を愛すること、人に仕えること、子どもに自分が実践しながら伝

えていくことの大切さを教えられました。必ず祈りに応えてくださる主を信じて進みたいと願ってます。チルミニ感謝します。LTの人たちがよくフォローしてくれていて感謝でした。(兵庫 竿代健)

・とてもタイムリーなウェインさんのお話。とても貴重です。(良かった講演) すべて…。特に1日目の「信仰から離れる13の理由」と「社会性」！(匿名)

・期待した以上の内容で、夫婦ともども、子どもも楽しめました。こうした学びを通じて、主の御心にかなう家庭づくり、ホームスクーリング実践に役立てたいです。イスラエルさん、松岡さん、良かったです。(大阪 谷島健二)

・神様が結婚と家庭を祝していることが本当によくわかりました。娘が結婚してホームスクールやチャーチスクールで子どもを育てる時は、できる限りのことをしたいと思いました。

(良かった講演) イスラエル・ウェインさん。聖書を実生活の中で実践し、主に信頼しきっていることがよくわかりました。お働きに感謝します。(匿名)

<関西子どもアンケート>

・すご〜く楽しかった。(チルミニファン暦、5年程)(谷島しおん 8歳)

・チルミニがとても楽しかったです！ LTに入ってお手伝いがしたいです。ありがとうございました。(阿部るい 11歳)

・たのしかった。(生田聖典 6歳)

・チルミニが最高です!!(松岡恵悟 9歳)

関西「つづきは次号」

《東京》

・今年も盛り沢山、そして、スタッフ、チルミニの方々の厚いご奉仕をありがとうございました。

イスラエル・ウェインさんの「社会性とは？」が知識としてダントツでした！ クリスチャンの間でもまだ理解されないこのテーマについて、ぜひ本にさせていただきたいくらいです！ 個人的にはルソーは良くないと知っていましたが、全体像もつかめました！

アイバーソン先生の分科会、毎年出ます。不思議に癒される会です。先生の裏表ないご自分の証をふまえてのメッセージに励まされます。

能登麻里さんのお証、実里さん自身の証、大感動でした。実里さん自身が言う、やっと最近守られてきたことがわかったというのが印象的でした。(匿名)

・久々にお会いできたチアメンバーの方々がいて、嬉しかったです。新たなチャレンジと励ましを受け、とても感謝しています。父親が家庭で子供たちをホームスクールして、弟子訓練していくことを勧めていましたが、とても共感できます。日本全体の教会を見たとき、弱くなってきている面があると思いますが、ホームスクールによって子供達

を各家庭で弟子訓練していくことによって、教会が強められ、日本が変えられて、リバイバルされると思います。(愛知 森山剛)

・神様と主催して下さった皆様に感謝で一杯です。生活の隅々まで主とともに歩むことの大切さ、主の御前でへりくだる必要性を痛切に教えられた2日間でした。本当に励まされ、原点に立ち返らされました。ホームスクールがんばります。

ダニエル・アイバーソン「9人の子供の親が語る」、青木氏「聖書的世界観」、イスラエルさんの分科会に出席させて頂きました。すべて素晴らしく大変励まされました。今年の4月より、ホームスクーリング1年生になりました。小学校登校班など、近所の方々への証のために祈っています。(匿名)

・来てよかったです。宇佐神さんの古代エジプト史とってもおもしろかったです。稲葉さんの基調講演もほしい！(東京 豊田宏子)

・Excellent！ 特にイスラエル・ウェインさん「結婚への備え」「地の塩・世の光」、マタイ・ブローマンさん。(匿名)

・毎年チアコンベンションに来ると、同じ仲間に会えるし、とても励まされる。稲葉さん、陽川さんらチアの皆さんにお会いすると、とてもとても元気になります！ 分科会もすばらしかったです。^^ 宇佐神先生の良かったです!!(東京 篠原隆・真佐美)

・1才の子供を預かってもらえたこともあり、本当に有意義な時を過ごすことができ、感謝です。ありがとうございました！ イスラエルさんの講演、いくつか出ましたが、良かったです！ 「子供をしつけるための心得」byフィリップ・ブローマン先生の分科会も具体的にとてもためになりました。(神奈川 石間伏春美)

・来て良かったです。(東京 吉田佳子)

・とても励ましを受けました。子どものため、いや母である私のチャレンジだと確信しました！感謝!! また来ます!!



「社会性とは」友達の影響の大きさに驚きました。想像以上でした。

2009年4月7日、入学式をしました。チャーチスクール、生徒1人からのスタートです。お祈り下さい。(東京 清瀬キングダムスクール 小川美和)

・1年で1番この日を楽しみにしています!! 燃えました!! 原点に戻る気持ちで、心新たにされました。どこに行ってもクリスチャンに会う、そしてみな一つの方向へ一致して、子育てを真剣に考える、まさに「天国」にいる心地で、幸せな2日間でした。スタッフの方々、本当にありがとうございました!!

(良かった講演)「子どもが信仰から離れる13の理由」イスラエル・ウェインさん、「常に選択」北村真紀さん、「渡辺流子どもをやる気にさせる方法」渡辺健さん。(匿名)

・今年3回目ですが、一番良かったです(自分の意識が高まってきたからかもしれません)。毎回思うことは、このコンベンションに参加しているときに、天国のような心地になり、家庭の教育の時、いつもこのコンベンションを思い出し、がんばれることです!!

(良かった講演)イスラエルさん(社会性)、アイバーソンさん(夫婦関係)、豊田さん(カリキュラム)その他全てです。(匿名)

・とても励まされました。いつも基本に戻され、神様の応援を感じます。イスラエルさんの「社会性」近代教育学の基を築いた方々の主張のねらいがわかり、どんなときも聖書に土台をおいていくことが一番の真理であり、安全であることがわかりました。鈴木姉「10代のかせから解放される祈り」が良かったです。(東京 月城美和子)

・イスラエル・ウェインさん、とってもすばらしかったです。また日本へ来日して下さい、日本のチャーチ&ホームスクーラーを励ましていただきたいです。

(良かった講演)イスラエルさん、井上さん、のりさんなど…聞けなかったのはDVD買います!

スタート時期はHSやっていることに満足して、本質やその他諸々わかっていませんでしたが、神様の憐れみで少しずつ、目が開かされていること感謝です。(匿名)

・毎回そうなのですが、悔い改めと子育ての原点に立ち返らせて下さいます。イスラエルさんの「子どもが信仰から離れ13の理由」の中で、親が子どもに言った言葉の通りに子どもは育つという言葉に考えさせられました。(千葉 越川澄子)

・イスラエル・ウェインさんの講演は、全部聴いてみたいと思いました。「親」として、子供との接し方をいつも考えさせられます。「社会性とは」を聴き、「子供の心が親でなく友達の方に向いている」確認の仕方を聞いたとき“あらら…”と悔い改めさせられました。「子供をしつけるための心得」フィリップ師も良かったです。(千葉 二之宮小百合)

・ホームスクールは遠泳をしているようで、泳いでいるう

ちに、目標がわからなくなってしまう、独りぼっちなような気持ちになってしまうという感がありますが、チアのコンベンション・セミナーに出るたびに、そうだった、このためだった、と確信が再び強められ、励まされます。今回も飢え渴いてきましたが、期待以上に教えられ、励まされました。イスラエルさんの基調講演・分科会はどれもとても参考になった。特に基調講演1はホームスルーリングを始めた親自身(自分たち)の目標がぶれてきていたのが、もう一度はっきりとした。フィリップ先生の基調講演、オススメモも良かったです。北村真紀さんの「常に選択」も非常に良かった。

2007年から部分的(公立校に通わせながら)、2008年から全面的ホームスクールしています。(埼玉 スミスとも子)

<子どもアンケート>

・LTができたので嬉しかったです。また絶対やります(笑)。(匿名)

・楽しかった。今年もやった「ボンボンポラウェイ」と「はたとり」(を来年もしたい)。1泊だったので、2泊3日くらいがいいな〜。(上原真友 10歳)

・とても楽しかったです。来年のコンベンションで、まだ13才の手前ですが、LTやりたいです。チアにっぽん、ガンバレ!! (片岡恵美 11歳)

・たのしかった。(亀川大志 5歳)

・チルミニは走れて良かったです。学げい会は、とても全員いっしょうけんめいで良かったです。(藤武尚生 9歳)
東京「次号、お楽しみに」



～日頃の感謝を込めて～

チアから夏のプレゼント（8月31日まで） 大幅ディスカウント教材！！

皆さんへの日頃の感謝を込めて、下記の教材を大幅ディスカウントします！ お子さんとの聖書の学びに役立つ「こころを育てるためにー聖書2」教師用ガイド初版、視覚的にも聴覚的にも聖書の言葉が心に迫ると大好評のDVD（ビデオ）聖書や、励まされたチアDVD・ビデオ。ご家庭用、またプレゼント用に、ぜひお買い下さい！

●「こころを育てるためにー聖書2」 教師用ガイド 初版

（若干誤植あり。そのほかは第二版と一緒にです）



残部僅少です

定価¥4,200
約80%オフ！ ↓
¥880

ビデオが便利という皆様へグッドニュース！

●ビデオ聖書

（マタイ、使徒、ローマ、ヘブル）



約85%オフ

定価¥1,980
1本 ↓
¥300

定価¥7,920
4本セット ↓
¥1000

大特価 登場！

●DVD聖書（単品）

（日英ナレーション／スタンダード（S）版）

（日英ナレーション&日英字幕／プラチナ（P）版）



S定価¥1,980 | P定価¥3,990
↓ 約60%オフ！ ↓
¥780 | ¥1480

●チア・DVD

励まされるドキュメンタリー

「神を愛する者の選択」（全80分）

鈴木啓子さん、グレースI.S.、志木C.S.、伊勢崎C.S.、中田さん、吉村さん、渡辺さん、衣笠さん、モンゴル・インド／ポール・ブローマンさん ほか

「永遠の栄光に目を向けて」（全81分）

松本明さん、下館ハーベスト、成田さん、鍵和田さん、北村さん、笹山さん、梶山さん、松岡さん、上原さん、三浦光世さん、稲葉ファミリー、ポールさん ほか

「全力で神を愛する」（全90分）

那須さん、J.C.、クリス・クリッカ弁護士ファミリー、ポールさんの闘病記 ほか

定価¥2,100
約75%オフ！ ↓
¥580

ビデオが便利という皆様へグッドニュース！

●チア・ビデオ

完売品切れ中です
予約受付中！



「新世代教育の幕開け」(全75分)

篠原さん、大河原さん、赤津さん、遠藤さん、横田さん、ぶどうの木L.C.S.、グレースL.S.、啓明小 ほか

「イエスさま100%、私たちはゼロ！」(全80分)

(¥1500) (9月初旬、発送予定です。少しお時間下さい) 能登麻里さん、清野ファミリー、明泉学園・ピリポさん ほか

「キリストの弟子となる」(全60分)

のりさん&愛子さんとポールさん&せつ子さん、光の子L.C.S.・青木夫妻、ジャン&ジェニー・ブローマンさん ほか

「スレイライド」明泉クリスマスファンタジー

定価¥1,575~¥2,100

1本 ↓

¥300

定価¥5,775

3本セット ↓

¥700

ディスカウント教材 オーダーシート

FAX (03-6862-8648) Eメール (office@cheajapan.com)

または郵送 (〒338-0013さいたま市中央区鈴谷8-7-13-207)

※5000円以上は送料無料 (今回のコンベンションCD、映画DVDを足してOKです)。それ以下、または遠隔地は、送料 (実費) がかかります。

※在庫がない場合、取り寄せに時間がかかる場合があります。何卒ご了承ください。

●「こころを育てるために 聖書2」教師用ガイド初版 (¥880) () 冊

ビデオ聖書単品 (¥300)

●「マタイ」() 本 ●「使徒」() 本 ●「ローマ」() 本 ●「ヘブル」() 本

ビデオ聖書4本セット (¥1000) () 組

DVD聖書単品 (Sスタンダード¥780、Pプラチナ¥1480)

●「マタイ」	S () 枚	P () 枚	●「マルコ」	S () 枚	P () 枚
●「ルカ」	S () 枚	P () 枚	●「ヨハネ」	S () 枚	P () 枚
●「使徒」	S () 枚	P () 枚	●「ローマ」	S () 枚	P () 枚
●「コリント」	S () 枚	P () 枚	●「ガラテヤ〜テサロニケ」	S () 枚	P () 枚
●「テモテ〜ピレモン」	S () 枚	P () 枚	●「ヘブル」	S () 枚	P () 枚
●「ヤコブ〜ユダ」	S () 枚	P () 枚	●「黙示録」	S () 枚	P () 枚

チア・ビデオ単品 ((1)~(3)¥300、予約注文：発送は9月初旬予定(4)¥1500)

(1)「新世代教育の幕開け」() 本 (2)「キリストの弟子となる」() 本
(3)「スレイライド」() 本 (4)「イエスさま100%、私たちはゼロ」() 本

チア・ビデオ3本セット 「新世代」「キリストの弟子」「スレイライド」(¥700) () 組

チア・DVD (¥580)

●「神を愛する者の選択」() 本 ●「永遠の栄光に目を向けて」() 本
●「全力で神を愛する」() 本

氏名

電話番号

住所 (〒)

チア・にっぽんスタッフ様 いつも素晴らしい働き感謝しております。DVD「Fire proof」2枚 注文します。実は、このDVDをあるホームスクーラーの高校生が個人的に字幕を作ってください、先日一足先に鑑賞しました。前作同様、学びの映画ですね。最後のシーンで涙が止まらず、私も悔い改めました。これは是非、たくさんの人に観て欲しいDVDだったので、今回、日本で発売されずごくうれしいです。

栄光在主

大阪 今井一穂

マガジンやニュースレター有難うございます！今回は、本を注文します。FAXが無いのでメールさせていただきました。三浦綾子さんの『したきりすずめのクリスマス』を3冊お願いします。宜しくお願い致します。函館 Bさん



ラネ愛恵ちゃん ブローマン 090422
(信雄(次男) & レイチェル・ブローマン夫妻の3女
「うれしい！神様に感謝！」)

以前、電話とメールで、ホームスクーリングについて、またコンベンションがあることなども教えて頂いた、横浜のAと申します。その後ニュースレターなどお送りくださって、ありがとうございます。不登校、不当園の子供たちは、その後も学校には馴染めず、学校との話し合いを重ねたうえで今は自宅学習となりました。という訳で、昨日、コンベンション申込みをさせていただきました。ホームスクーリングについて何も知らない者なので、期待して参加したいと思います。横浜市 A

イスラエル・ウェイン氏の講演は今までになかったほどに私は大変強いインパクトを受けました。本気で主にしたがって、自分も家族も歩もうとしている体験から出てきていることばだったからだと思います。特に、「社会性とは？」から、学校の本質的な問題について、「家庭のリバイバルの秘訣」は、用意してきたメッセージを変更して、教会の問題について語ってください、今まで聞いたことのない大変重要なメッセージだと思いました。ウェインさんの全講演のCDを注文しました。主に従うことを真剣に考えている知り合いや、息子に聞かせてあげたいと思います。タペ「フェイス・ザ・ジャイアント」を見ましたよ。とても感動しました。「ファイヤー・ブルー」も注文します。祝福をお祈りいたします。仙台 吉村忠敏



井澤 望(のぞむ)くん 080528

コンベンションの日、5月28日に5人目が与えられました。望(のぞむ)といいます。「待ち望め。主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め。主を。」(詩篇27の14) 5人のホームスクーリング、自分達の力や努力では何もできないことを痛感していますが、全て主に委ねて、主の力と知恵でこれからも続けてゆきます。

千葉 井澤紋庸、満美子

ボイス&メール



ハリガン義英(よしえ)ちゃん 080808
(テモテ・ハリガンさん(DVD「永遠の栄光に目を向けて」に出演)の第一子です。テモテさんは現在、アジアで伝道中。)

早速「聖書が教える親の道」を送ってください、ありがとうございました。チアから出ている本は全部読んでいますが、この本は中でも何度も読んでいます。小さいお子さんがいる知人にプレゼントしようと思い購入しました。

イスラエル・ウェインさんの講演はどれも「アーメンです」と言わずにはおれないほど、私にとり時宜にかなった学びでした。それから、初めて、青木先生の証をお聞きしびっくりしました。留学を一度もなさらないでどのように素晴らしい通訳をなさるなんて、本当にすごいです。「英語を教えることによって、英語を学んだ」とおっしゃっておられました。子どもたちにもその証を話して聞かせました。子どもたちにも聞いてほしい講演がいっぱいありました。また、全講演が収録されたDVDが出たら全部の講演を聞けそうです。今週はいよいよ東京コンベンションですね。祝福されますように祈っています。(できることなら私も東京にも参加したい気持ちでいっぱいです。)

大阪 Cさん

第10回GLEEM 5カ月ホームステイ in カナダ

<第9回プログラム 日本人生徒2名 グリムから表彰>

第9回プログラムに参加した工藤光多君と笹山公平君は、今月7日、元気な姿で帰国。帰国直前に現地で開かれた「お別れプログラム」では、ともにグリムから表彰されました。工藤君は、最もキリストの性質に似た生徒に贈られる「ダン・ガリアソ賞」を、笹山君はクリスチャン教育で優秀な態度を示した生徒に贈られる「クリスチャン教育賞」を、それぞれ受賞しました！

カナダの雄大な大自然に囲まれながら英語を学習し、神様との関係も深められると好評のGLEEM留学プログラム。予定されていた夏（4週間）のプログラムは、諸事情により取り止めとなりましたので、どうぞご了承ください。

秋のプログラムは予定通り行われます。テニス、ゴルフ、カヤック、乗馬、水泳など盛りだくさんのアクティビティのほか、英語とクリスチャン教育も充実！ 日程は以下の通りです。

詳しい情報は、www.cheajapan.com、またはチアにつぼん事務局へ。お申し込みはお早めに！

<秋のプログラム・5カ月>

出発：8月22日（土） 帰国：2010年1月9日（土）

第4回チア・につぼん杯読書感想文大会 募集要項

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を表す力になります。今年も、たくさんの皆さんのご応募、お待ちしております！ 今年は、チアの書籍に加えて、三浦綾子さんの作品もOKです！

<<三浦綾子 作品>>

『氷点』『積木の箱』『塩狩峠』『道ありき』『自我の構図』『細川ガラシャ夫人』『天北原野』『泥流地帯』『千利休とその妻たち』『海嶺』『水なき雲』『母』『銃口』、そして『したきりすずめのクリスマス』など90余冊、どの作品でもOKです。

<<チアにつぼん書籍>>

◎恋愛と結婚シリーズ：『聖書が教える恋愛講座』『聖書が教える結婚講座』
『誘惑に負けないために』

◎夫婦のきずなシリーズ：『夫婦のきずなを強めるために』
『神のこころにかなう妻』

◎心に残る名作シリーズ：『花かご』『いばらの生け垣』『殉教』『ヤムイモの問題』
『毛皮と約束』『エイミーの台湾日記』『脱出』

◎教育の名著シリーズ：『キレる子どもたち』『神の知恵と親の情熱』『聖書が教える

親と子のコミュニケーション』『母なるあなたへ』『社会性のワナ』『子どもの可能性を伸ばす7つの秘訣』『レガシー遺産』『チャイルド・トレーニング』『聖書が教える親の道』

◆対象

小学生の部 400～1600字程度 中高生の部 800～2000字程度 一般の部 800～2000字程度

◆締め切り 9月15日（火）必着

◆発表・授賞式 白馬セミナー2009会場



第3回 チアにっぽん杯読書感想文大会 チアにっぽん最優秀賞（中高生の部）

「殉教」を読んで
那須真良樹（大阪府）

「確かに、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。」（第二テモテ3：22）

僕が「殉教」を読んでいたとき、ずっと頭から離れなかったことばです。序章で紹介されて、最後の章を読み終えるまでこのことばはずっと僕にたいして問いかけているようでした。

「僕はイエス・キリストにあって敬虔に生きているのか？」

僕は「この本に紹介されているクリスチャンたちは、数えきれない殉教者達の一人である」また「全ての殉教者達の死が必ず後世に伝えられるわけではなく、これまでも、またこれからも語られることがないクリスチャンがいるだろう」と考えた時に、果たして僕が自分自身を殉教の死にさえゆだねることができるのか自信がもてなくなりました。

それに加えて、読んでいく中でデイビッド・ハクストンという一人の殉教者の死に方を知り愕然としました。「手首を切り落とされ、縄で首を絞められるが死ぬ一歩手前で止められ、短剣で腹を切りさかれた」と読み、それが自分自身に起こる場面を想像すると、ただ「怖い」という感想しかでてきません。

しかし、神様は「殉教」という本を通して、ただ問題を提起するだけではなく解決とセットにして与えてくれたように思います。

僕はこの本の中で紹介されている「私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって走り続けようではありませんか」ということばが心にとまりました。このことばはクリスチャンの人生を「競争」と表現しています。そして、競争というスポーツとクリスチャンの歩み方を見る時、いくつかの学ぶべきポイントが示されているように思いました。

1 本番までの練習の量がキーポイントになります。どれだけすごい力を持つランナーでもトレーニングなしでは勝てない。ではクリスチャンにとってトレーニングとは何なのか。

テモテへの手紙には「聖書はすべて～訓練とのために有益です」と書いてあります。もちろん様々な方法があると思いますが、まずみことばをたくさん蓄えることが必要だと改めて思いました。

2 競争というものはスタートラインが決まっています。全てのランナーは同じラインからスタートします。クリスチャンも同じだと思ったのです。「イエス様によって救われる」ということは全てのクリスチャンにとって共通することですが、それはゴールではなく、そこからどうするか



が重要だと思いました。

3 これは当たり前のことですが、ランナーは試合中「全力」で「集中」して走らなければ勝つことができません。クリスチャンにもこれが当てはまるのではないのでしょうか。全力の中には苦しみにも耐えることが含まれているのではないのか。僕はこのことを考えた時に、自分が全力で走っているのかと問われました。

4 競争には必ずゴールがあります。ゴールラインに達した時の喜びは、走った人にしかわからないでしょう。黙示録に「見よ。わたしはすぐに来る。わたしはそれぞれのしわざに応じて報いるために、わたしの報いを携えて来る」とあるように、聖書もクリスチャンに対して報いを約束しています。僕はこのポイントが一番教えられました。最後の喜びがあるからこそランナーは走れるのではないのか。クリスチャンもやみくもに、一生懸命にがんばっていいと神様は言っていない。ゴールにたどり着いた時一しかも、それは最後ではなく、天での素晴らしい生活の始まりの時一の喜びを目指してがんばる。

僕はこのことをふまえて、神様が人間に対して用意している計画を考えた時、「自分は本当に小さな者だな」と実感しました。そして、同時にその自分に対して神様は従われることを望まれているということを思い出しました。そして、考えるほど「なぜ自分は恐れや苦しみにいつまでもこたわっているのか？」という思いが出てきました。

聖書にあるように「恐れるな。わたしがあなたとともにいるからだ（イザヤ43：5）」と云ってくださる神様が助けてくださり、たとえどんな迫害が待っていてもその先には喜び、報いが待っている。これがどれだけ素晴らしいことであるのか想像できません。

「殉教」を読みきった次の日、ディポジションの時間に聖書を読んでいると次のように書いていました。

「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。」（ローマ8：28）

「神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵し得ようか。」（ローマ8：31）

僕はこれから自分自身に何が起こるのか知りません。もしかしら、「殉教」で紹介されたクリスチャンたちが味わったような苦しみを受けるかもしれません。

しかし、少なくともこれだけは知っています。神様は全てを益にしてくださり、僕の味方である方なのです。この神様に、僕はたとえ命であってもささげたいと心から思いました。

もしかしら、この気持ちは消える時があるかもしれません。

神様のみこころではない道へ進んで行く時があるかもしれません。

そうならないためにも、詩篇に「どのようにして若い人は自分の道をきよく保てるでしょうか。あなたのことばに従ってそれを守ることです」と書いてあるように、今、みことばをしっかり学び、成長していき、イエス様に似ていきたいと思いました。

この本と出会えるように導いてくださった神様に感謝したいです。